

平成17年9月期中間決算の概要

ファイナンス・オール株式会社

「本資料に掲載されている事項は、ファイナンス・オール株式会社のご案内等のほか、当社の事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。なお、当社は、本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分については保証するものではありません。また、本資料の内容は予告なしに変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。」

第1部

平成17年9月期中間期の業績

(平成16年10月1日～平成17年3月31日)

(1) 平成17年9月期の中間業績について

平成17年9月期中間期連結業績

(単位:百万円)

	平成16年9月期 中間期 (平成15年10月～平成16年3月)	平成17年9月期 中間期 (平成16年10月～平成17年3月)	対前年同期増減率 (%)	通期業績予想
売上高	5,072	6,327	+24.7	12,500
営業利益	427	982	+129.7	—
経常利益	406	965	+137.4	1,850
当期利益	262	1,059 [*]	+303.6	1,450

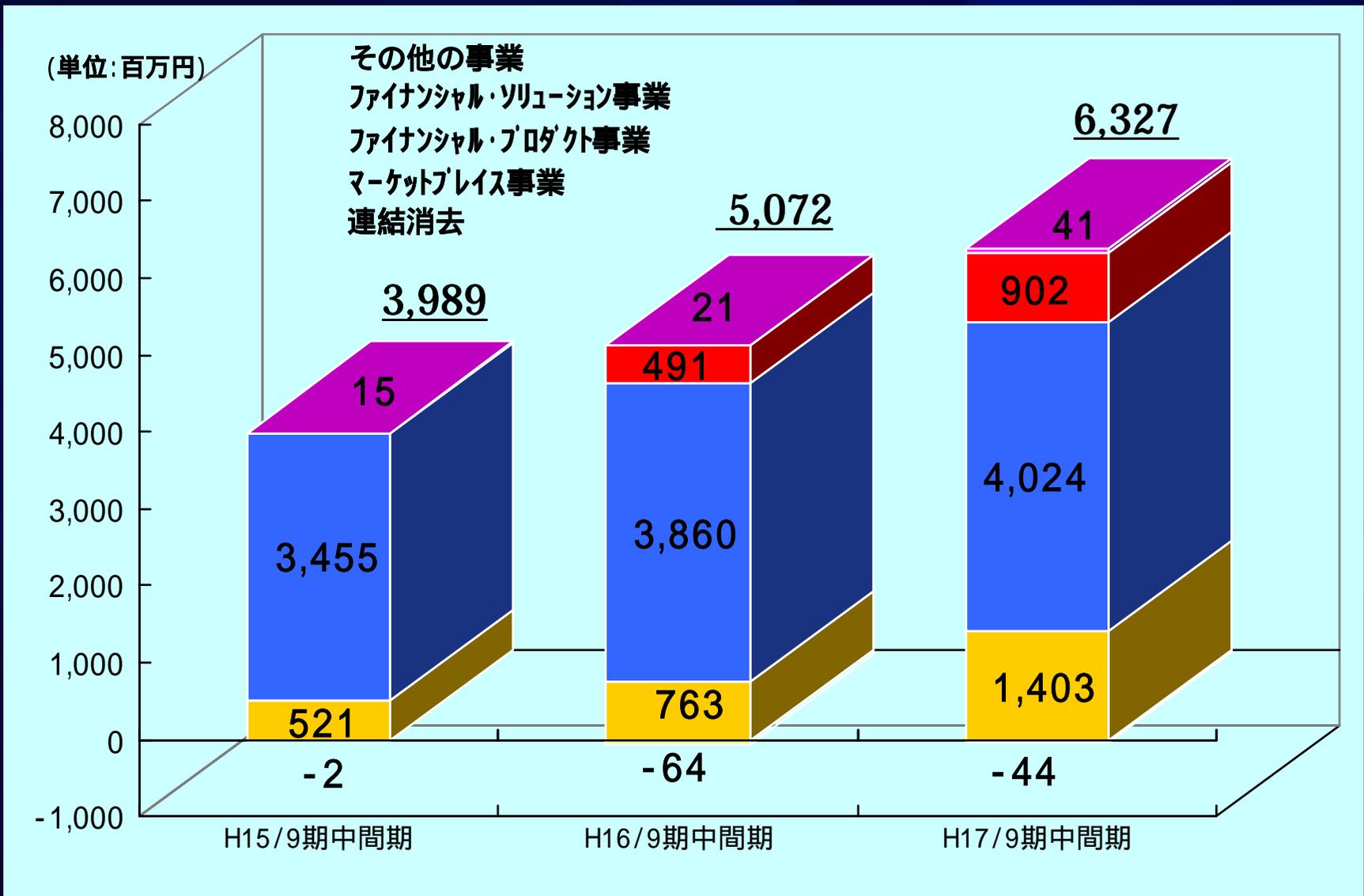
* 子会社ペリトランス(株)の株式公開時の公募増資(平成16年10月)及び子会社グッド住宅ローン(株)の第三者割当増資(平成17年2月)に伴う持分変動による「みなし売却益」約540百万円を当期に計上。

平成17年9月期中間単体業績

(単位:百万円)

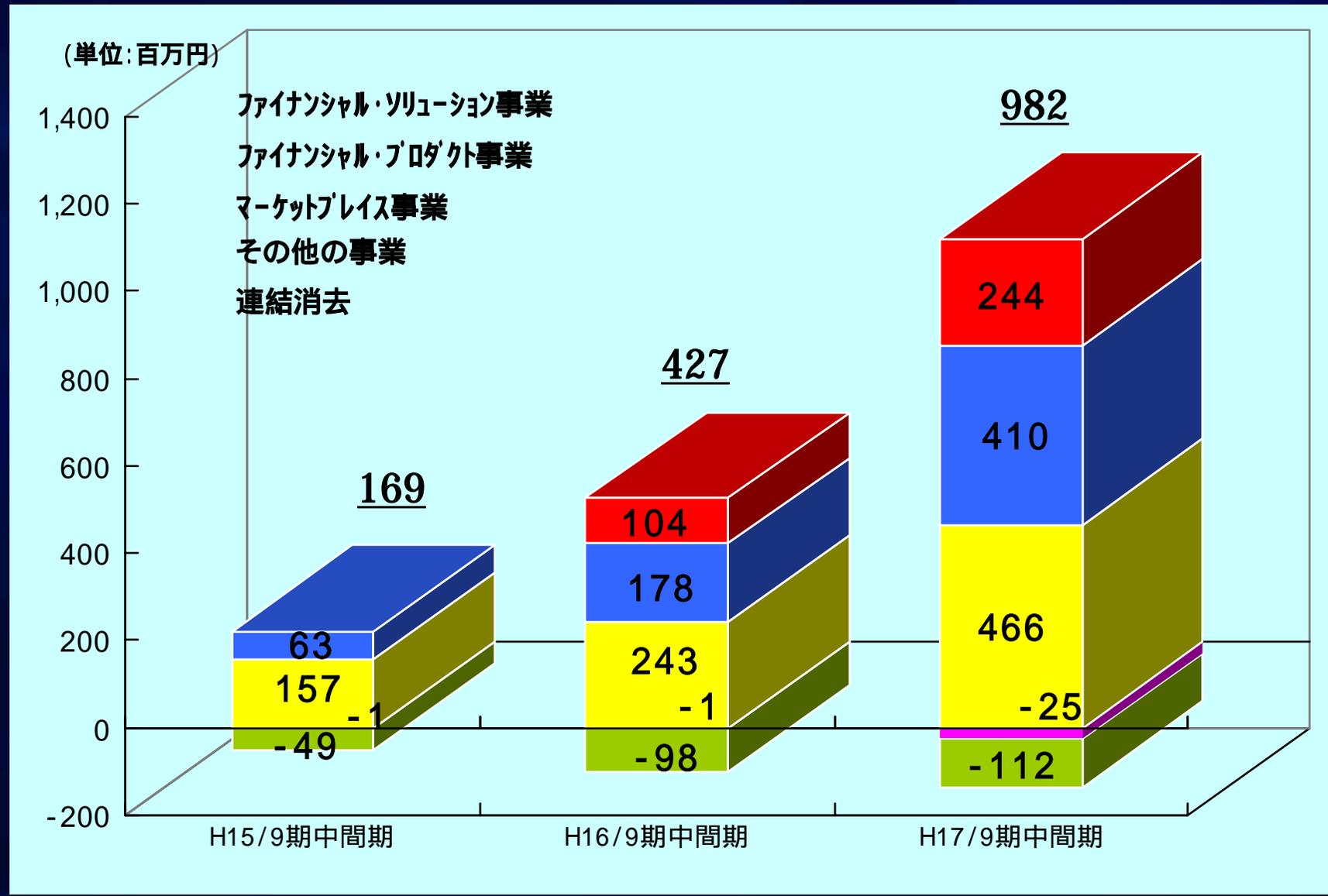
	平成16年9月期 中間期 (平成15年10月～平成16年3月)	平成17年9月期 中間期 (平成16年10月～平成17年3月)	対前年同期増減率 (%)	通期業績予想
売上高	774	1,370	+77.0	2,200
営業利益	127	274	+114.7	—
経常利益	135	347	+156.9	560
当期利益	75	192	+155.7	310

平成17年9月期中間期セグメント別連結売上高



注1. 単位未満は切り捨てにて表示

平成17年9月期中間期セグメント別連結営業利益



注1. 単位未満は切り捨てにて表示

平成17年9月期中間期の連結業績における主な増収、増益要因

セグメント	増収額 (百万円)	増益額 (百万円)	主な要因
連結	1,255	555	
マーケットプレイス事業	640	223	<p>インウェブ：自動車保険見積もり件数前年同期比38%増、参加損保会社12社 16社へ。</p> <p>イーローン：モバイルサービス好調、ローン仮申込み件数前年同期比116%増</p>
ファイナンシャル・プロダクト外事業	164	232	<p>グット住宅ローン：住宅金融公庫の「フラット35」の取り扱いが好調。新規融資金額が261億円と前年同期比150%増。</p> <p>ウェブリース：引き続きリース料収入は堅調推移</p>
ファイナンシャル・ソリューション事業	410	139	<p>ペリテンス：クレジットカード処理件数、店舗数が拡大。</p>
その他	20	24	<p>保険料代理店事業の収入堅調推移。ホームローン・コンサルティングが人件費などコスト増加により減収。</p>

(2) 株式情報

大株主の状況

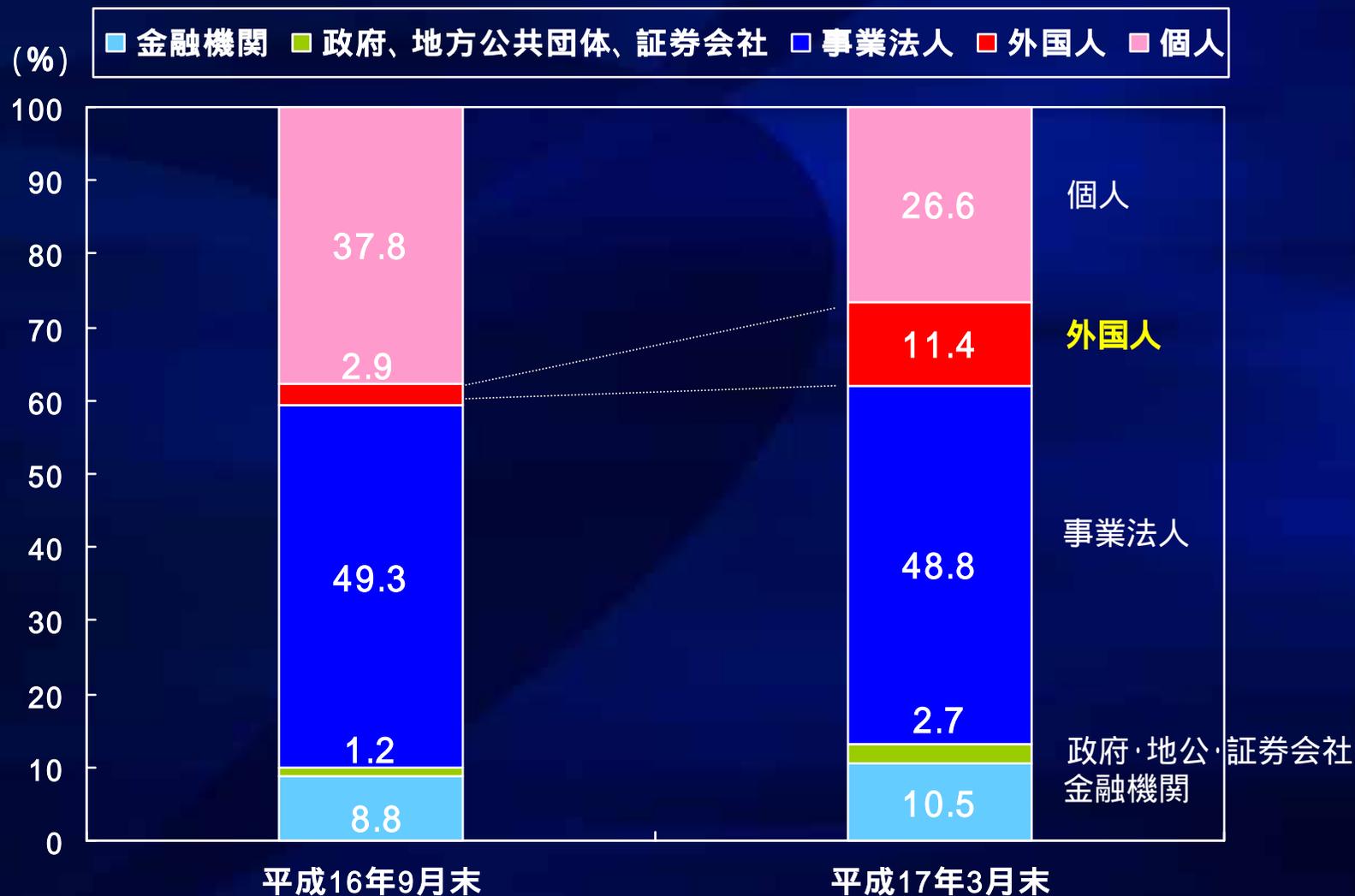
平成17年3月末現在

氏名または名称	所有株式数	所有割合 (%)
ソフトバンク・インベストメント	358,964	43.34
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	28,072	3.38
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	22,899	2.76
オリックス	20,352	2.45
SMBCフレンド証券 自己融資口	14,653	1.76
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	14,381	1.73
大阪証券金融	13,353	1.61
ユーリーグ	13,200	1.59
アイルランドスペシャルジャスティックレンディングアカウント	2,144	1.12
芙蓉総合リース	2,141	1.12

平成17年3月末現在 発行済株式数 828,092株

株式分布状況の推移

平成17年3月末に株主において、外国人持株比率が急増。(2.9% 11.4%)



第2部

当中間期における事業の概況

2005年9月期中間期において、売上、営業利益、経常利益、当期純利益において過去最高を大幅に更新。

(1) マーケットプレイス事業が好調。

営業利益が前年同期対比91%増加。

(2) 住宅金融公庫証券化ローン『フラット35』が好調スタート。

2005年3月末時点の融資実行残高681億円。同年9月末に1000億円の残高を見込む。

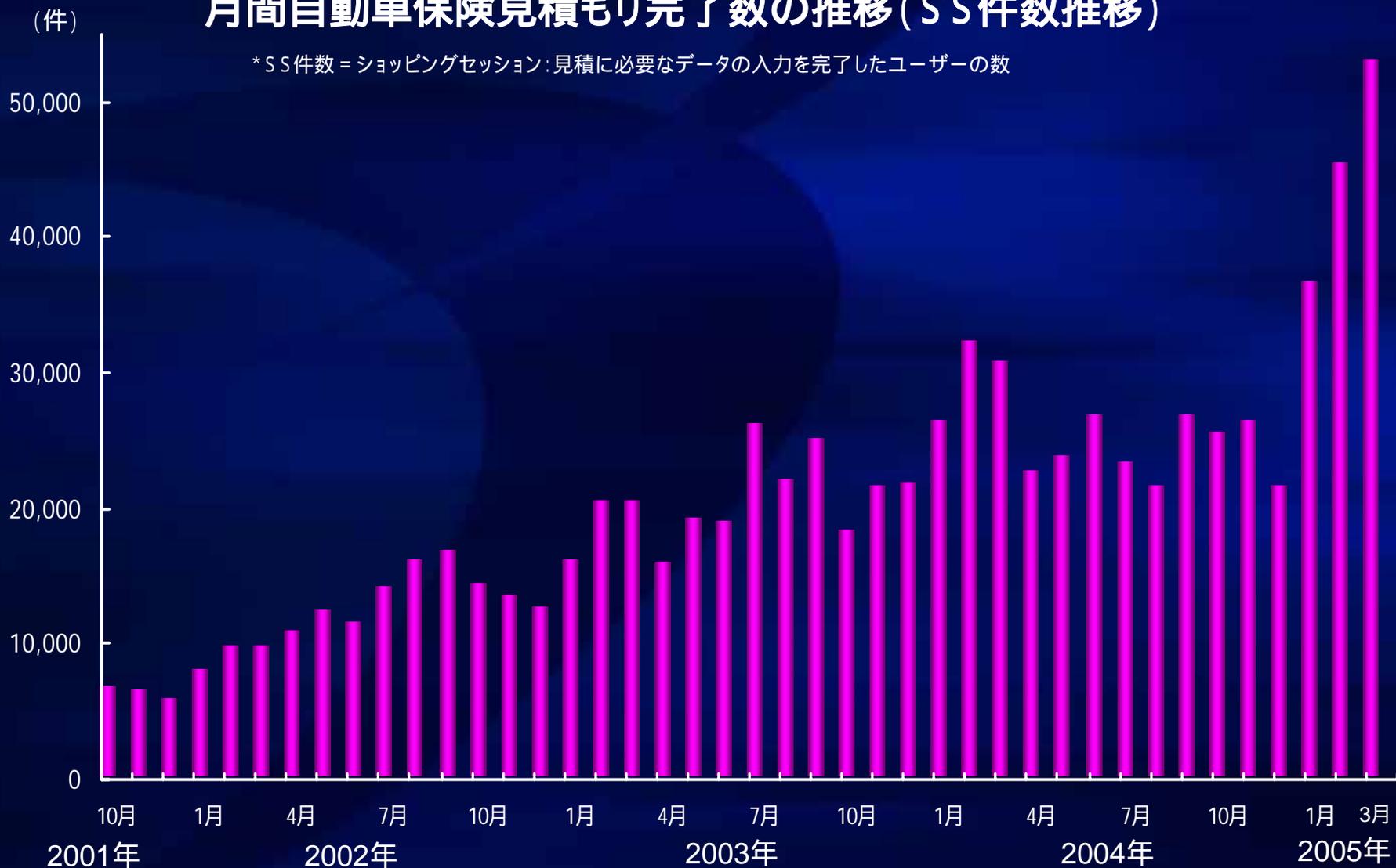
(3) 金融分野に特化したネット広告代理店事業に進出。

株式会社セプテーニ(JASDAQ上場)と合併会社「株式会社キャノウ」を設立。

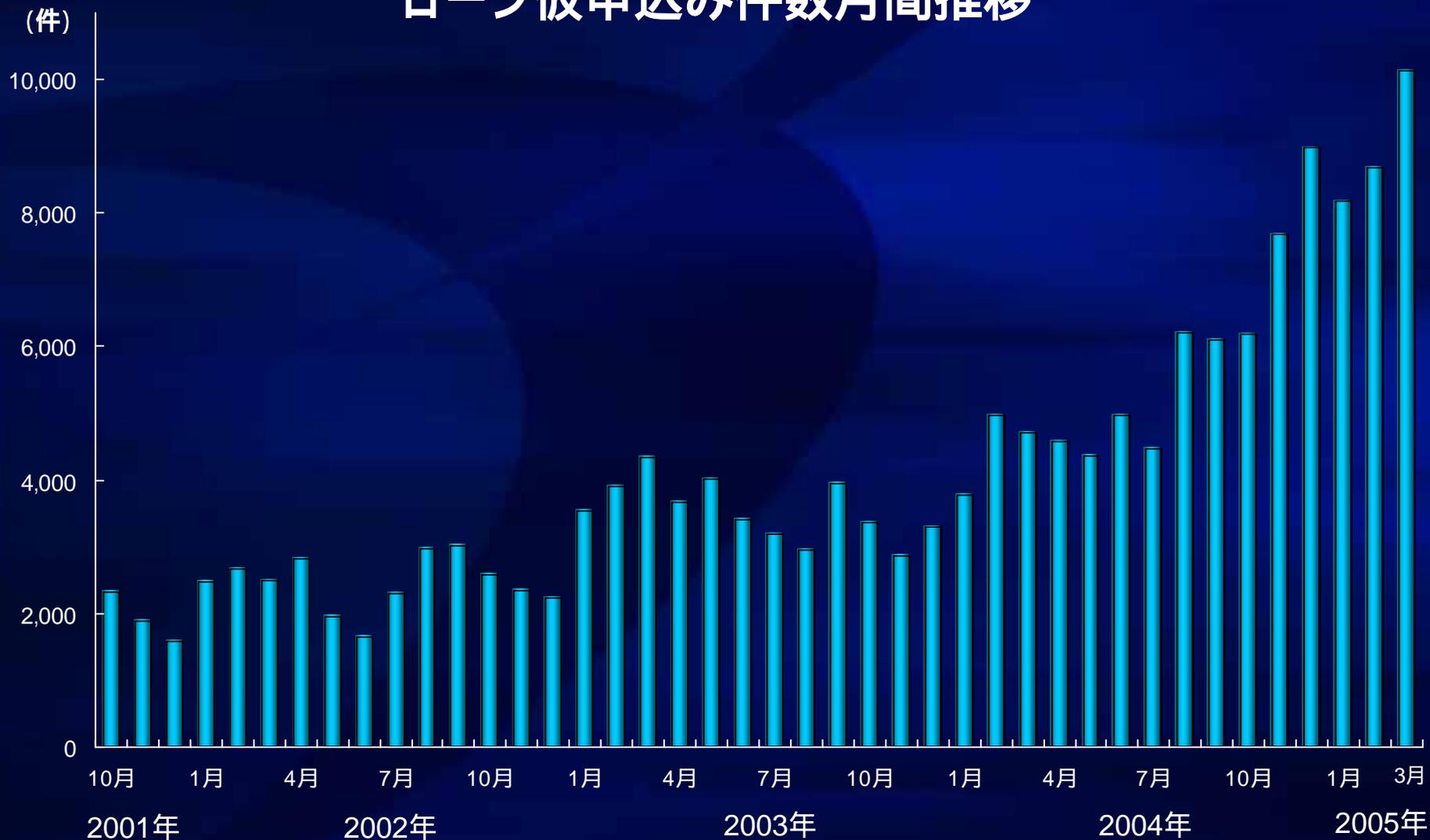
マーケットプレイス事業の概況

月間自動車保険見積もり完了数の推移 (SS件数推移)

*SS件数 = ショッピングセッション: 見積りに必要なデータのを入力を完了したユーザーの数



ローン仮申込み件数月間推移



自動車保険見積もり完了数の中間期対比

*SS件数 = ショッピングセッション: 見積りに必要なデータの入力を完了したユーザーの数

平成16年9月期中間期 (平成15年10月～平成16年3月) SS件数	平成17年9月期中間期 (平成16年10月～平成17年3月) SS件数	対前年同期比 (%)
150,681件	208,163件	+ 38.1

ローン仮申込み件数の中間期対比

平成16年9月期中間期 (平成15年10月～平成16年3月) ローン仮申込み件数	平成17年9月期中間期 (平成16年10月～平成17年3月) ローン仮申し込み件数	対前年同月比 (%)
23,043件	49,836件	+ 116.3

【売上推移】

前年同中間期売上高
(平成15年10月～3月)
69百万円()

65%増

平成17年9月期中間期
売上高 114百万円

() インターアイ売上高

引越達人セレクト

AOL、Yahoo!JAPAN、So-netなどポータルサイトにコンテンツ提供開始。

Shopping All ギャザの開始

マーケットプレイスユーザーへの共同購入方式のショッピングサービスへの誘導を開始。

チケット流通センター

ウェブサイトリニューアル、ユーザー登録機能の追加などユーザービリティを向上し、月間ユニークユーザーが14万人を超える。

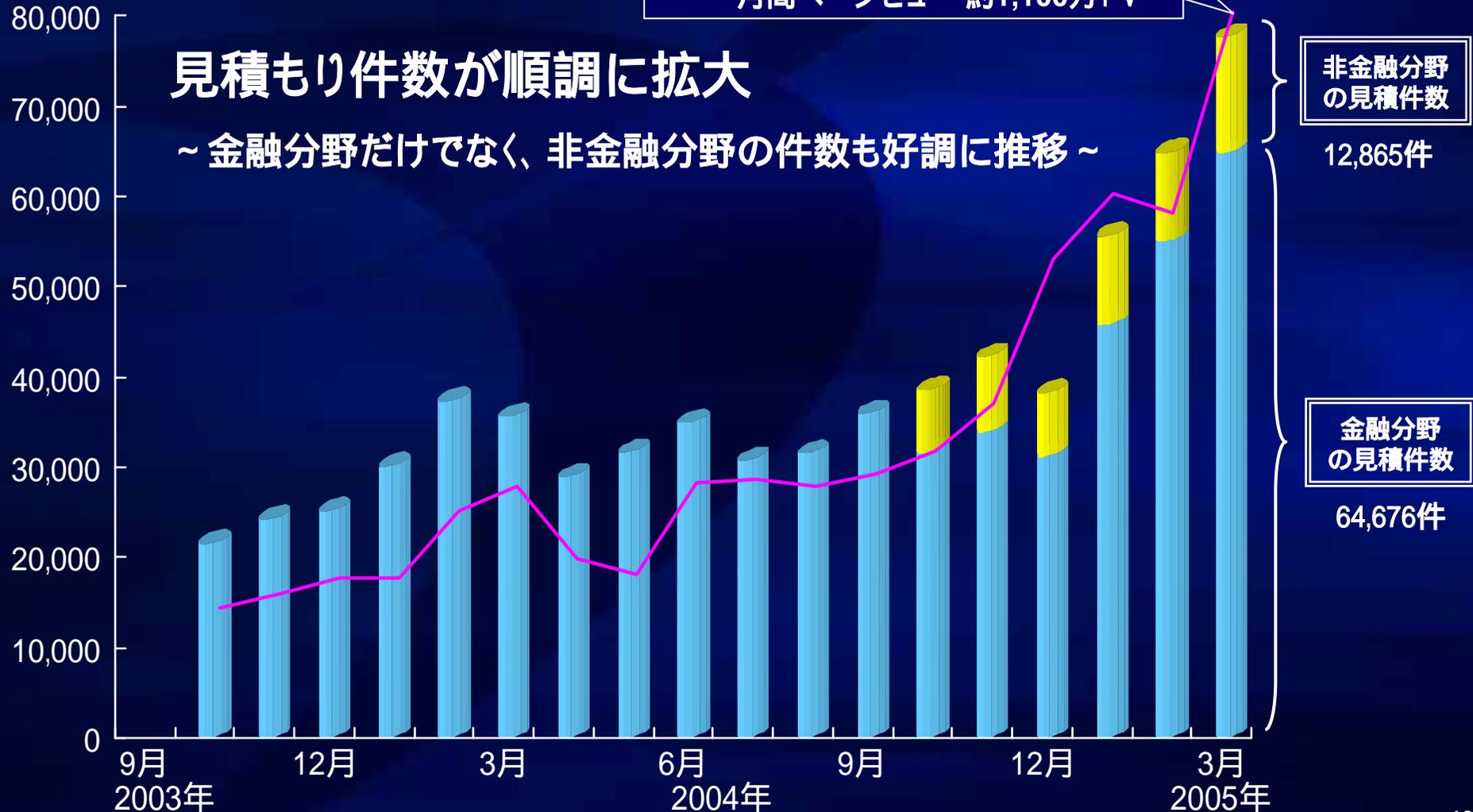
成長するマーケットプレイス事業

(見積もり件数)

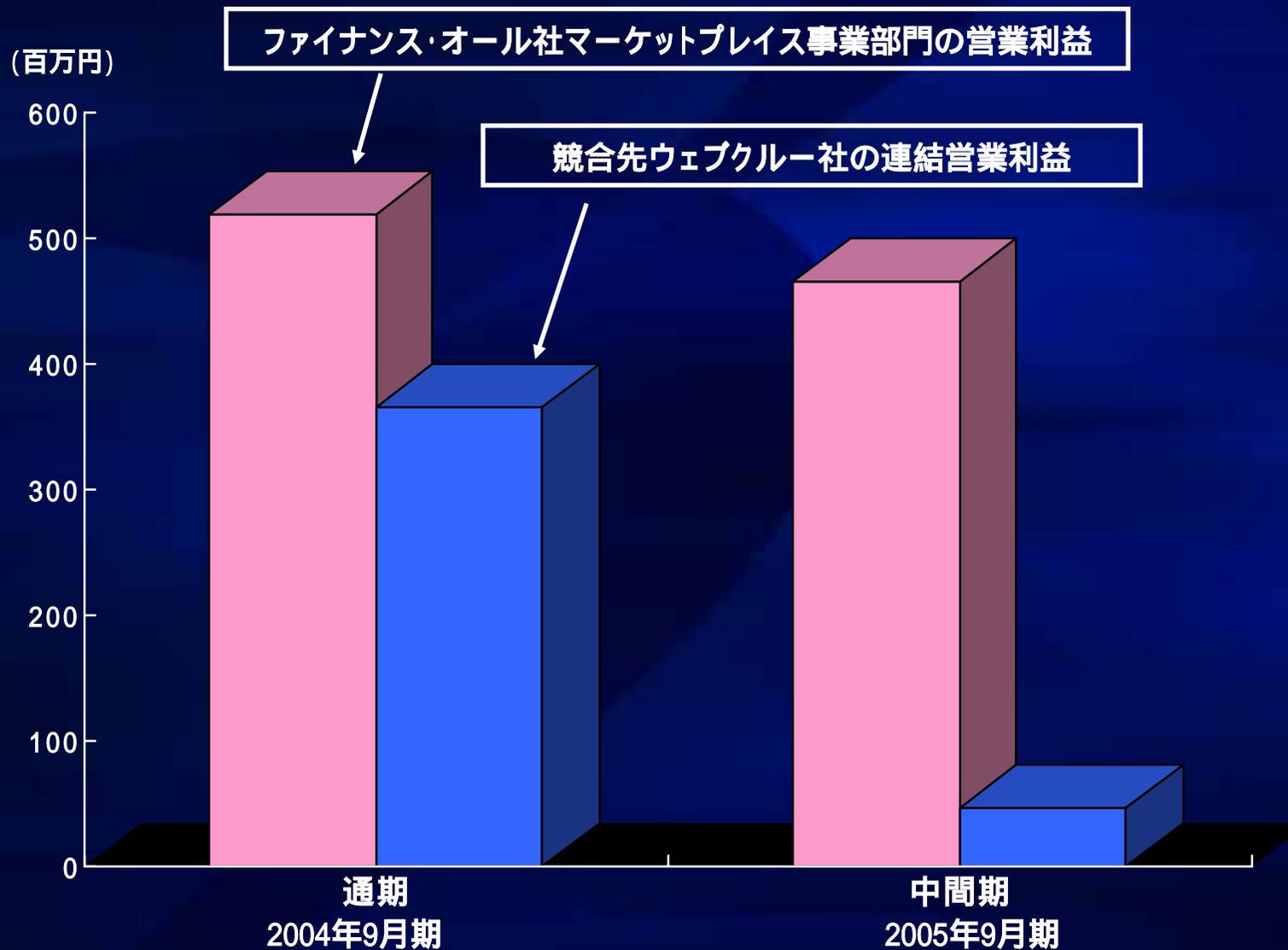
2005年3月
月間見積もり件数 約78,000件
月間ページビュー 約1,100万PV

見積もり件数が順調に拡大

～金融分野だけでなく、非金融分野の件数も好調に推移～



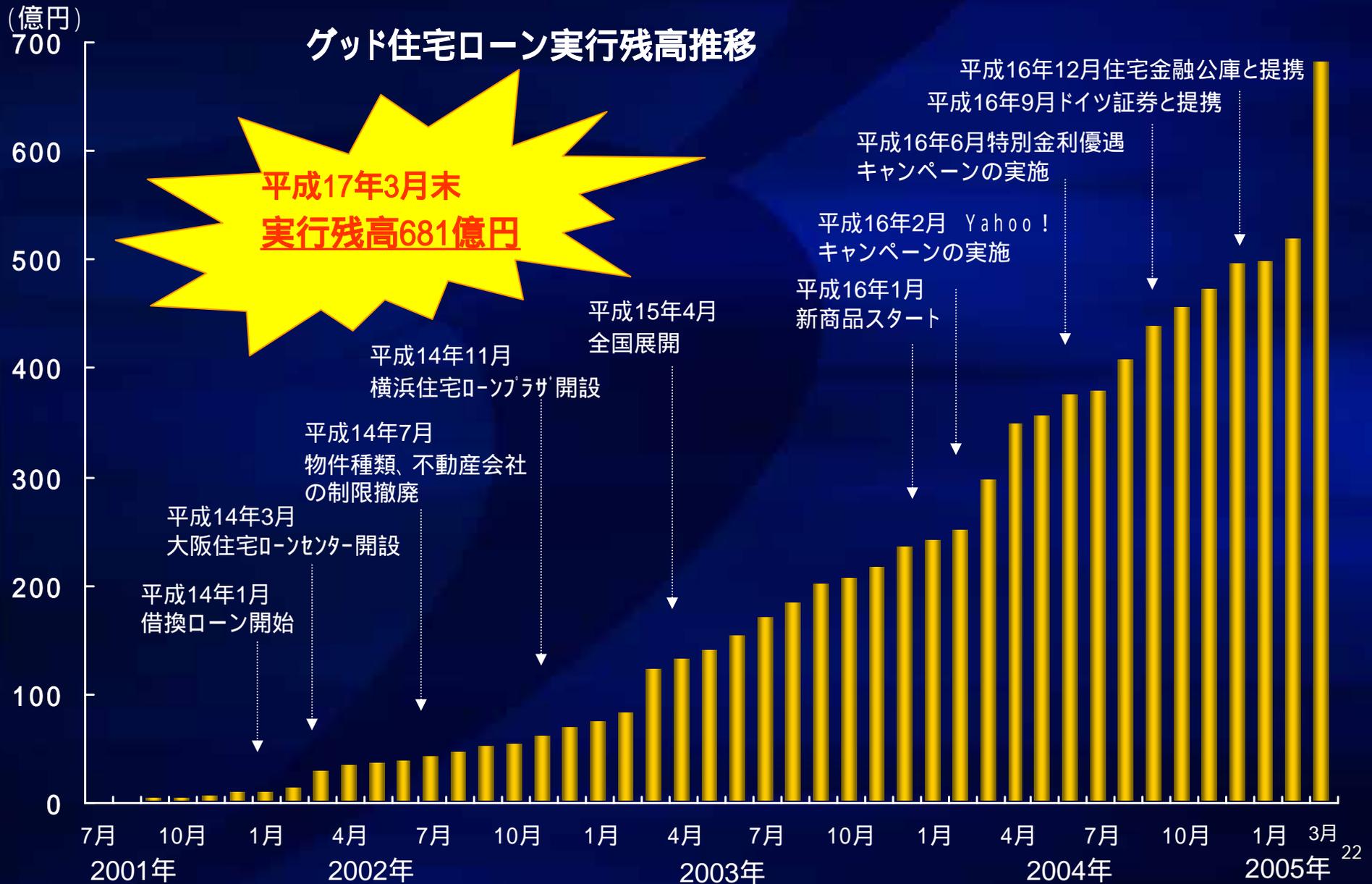
比較サイトにおける「勝ち組」の地位を確立



ウェブクルー社の2005年9月中間期の数字は、本年4月15日に開示された業績修正における今期中間連結経常利益の予想値を使用。20

ファイナンシャル・プロダクト事業

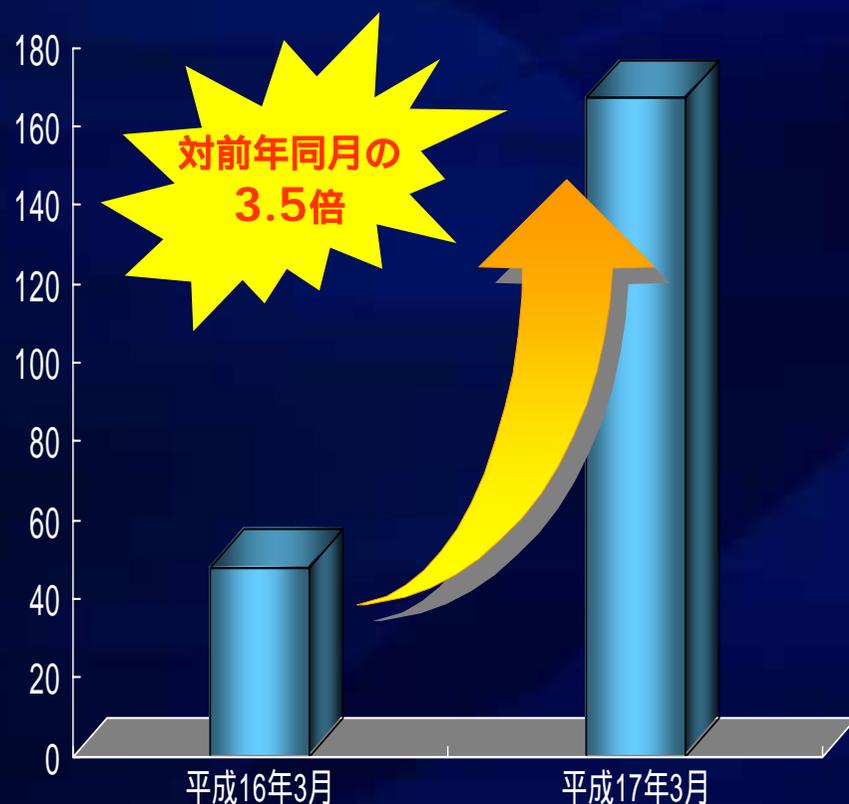
成長著しいグッド住宅ローン



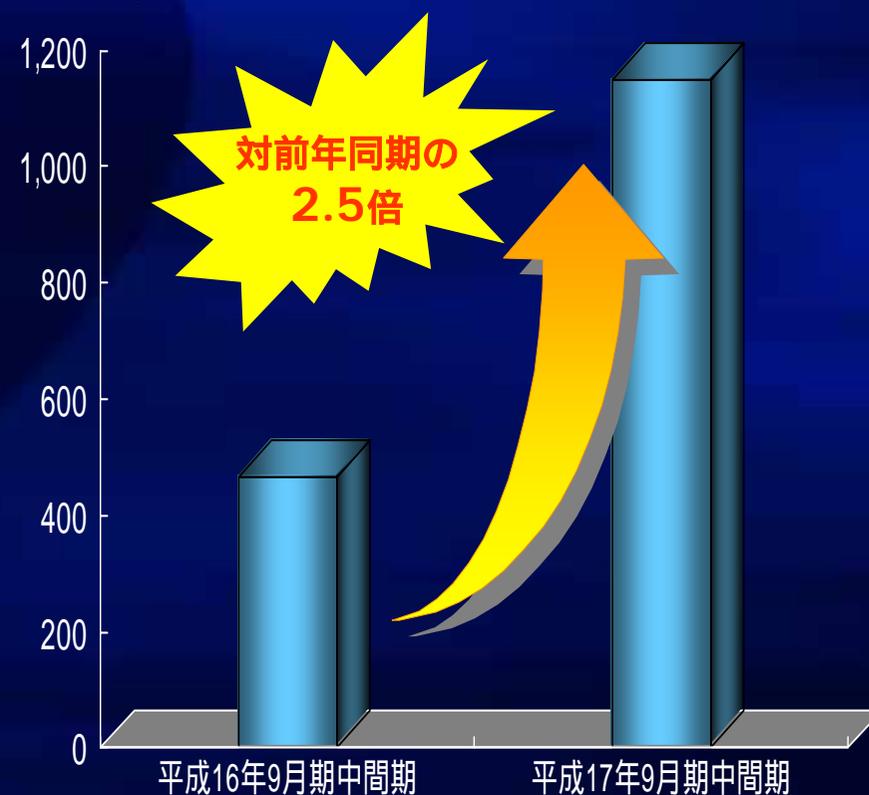
フラット35 (公庫証券化ローン) が牽引

平成16年12月1日より受付を開始した公庫証券化ローン「フラット35」が好調。
新規融資実行件数、新規融資実行金額が急増。

(単位: 億円) < 3月単月新規実行金額 >



(単位: 件) < 当中間期新規実行件数 >



グッド住宅ローンの前期対比実績

住宅ローン新規実行金額 前期対比

(単位:百万円)

平成16年9月期中間期 (平成15年10月～平成16年3月) 新規実行金額	平成17年9月期中間期 (平成16年10月～平成17年3月) 新規実行金額	対前年同月比(%)
10,450	26,211	+ 150.8

住宅ローン実行残高 前期対比

(単位:百万円)

平成16年3月末現在 融資実行残高	平成17年3月末現在 融資実行残高	対前年同月比(%)
29,409	68,125	+ 131.6

グッド住宅ローンの低金利 ~メガバンクとの比較~

最長35年固定金利 全金融機関の中で最低金利2.23%(1月実行金利)でスタート
 平成17年4月実行金利においても、全220の金融機関の中で最低水準金利を提供

【平成17年4月実行金利】

金融機関	金利(%)
グッド住宅ローン	2.29()
都市銀行	
りそな銀行	2.41()
みずほ銀行	2.65
東京三菱銀行	2.65
UFJ銀行	2.76
三井住友銀行	2.88



【全金融機関の金利状況】
 平均金利 2.75%
 (段階金利を除く)

() 上記金利以外に各銀行では融資手数料が必要。
 グッド住宅ローンおよびりそな銀行は融資実行時に融資手数料が実行金額に対し2.1%、他4行については、一律31,500円が必要となる。参考までに、グッド住宅ローンの融資手数料を含めた実質金利は、借入金額の上限金額8,000万円を35年借り入れた場合で2.395%。

ファイナンシャル・ソリューション事業の概況

上場子会社ベリトランスについて

ヘラクレス市場へ上場

上場日 : 平成16年10月5日

公募価格 : 600,000円

初値 : 1,350,000円

発行済株数 : 56,292株

時価総額 : 18,294百万円 (平成17年4月22日現在)

ファイナンスオール
の含み益 : 7,158百万円 (平成17年4月22日現在)

ファイナンスオール	(上場前)	(上場後)
持株比率推移	45.8%	41.3%

ファイナンス・オールはIPO時に売り出しを行っておらず、持ち株数は上場前と変わらず
23,260株(分割考慮済み)であります。

トランザクション件数の推移

(千件)

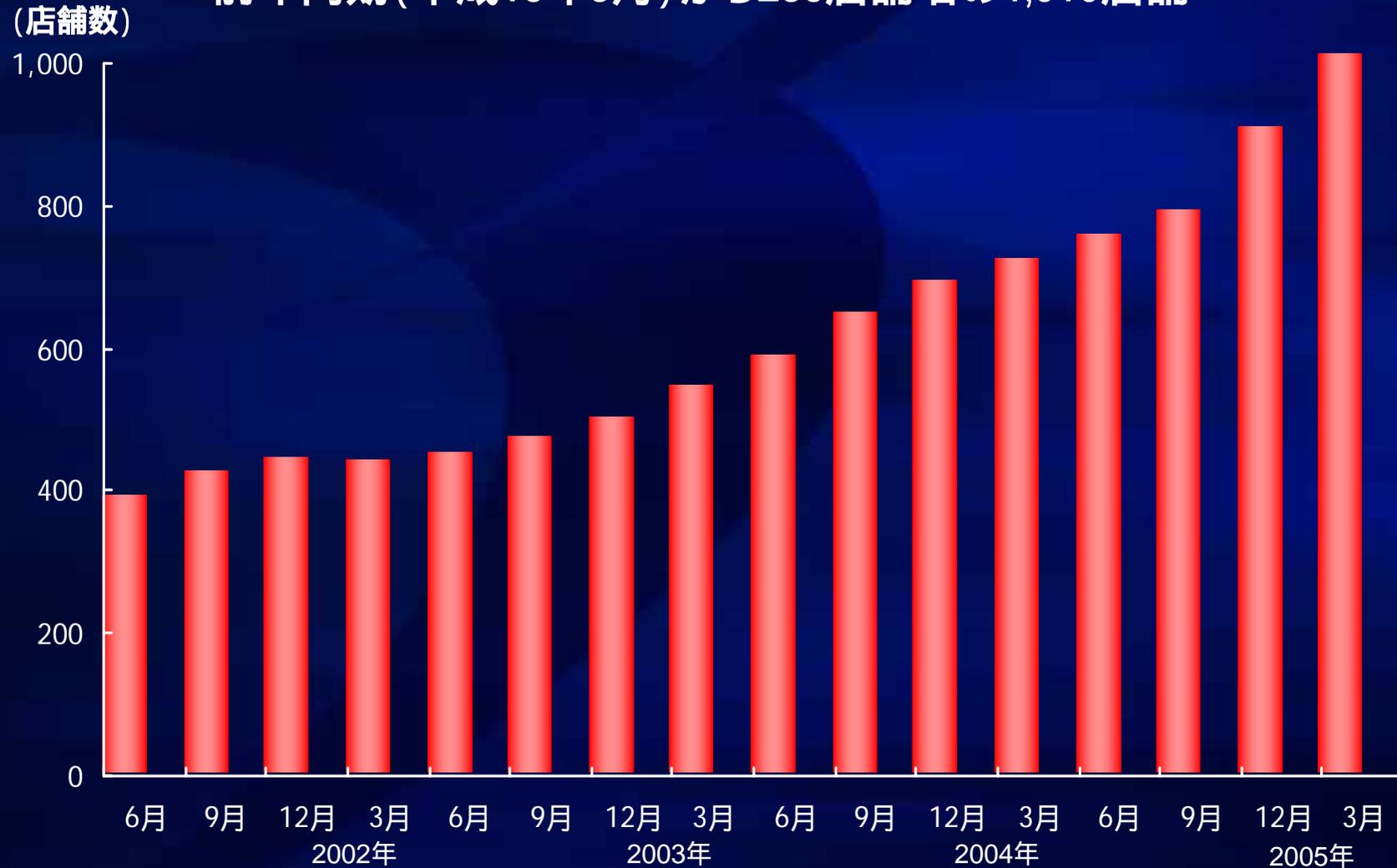
前年同四半期比169.2%と順調な伸び

(ベリトランス社のサーバーで処理された1つのクレジットカード決済の取引データ)



利用店舗数の推移

前年同期(平成16年3月)から286店舗増の1,010店舗



第3部

今後の事業戦略

課題と中期ビジョン

【当面の課題】

1. 比較サイト(マーケットプレイス事業)の拡充
2. 住宅ローン事業の本格的成長

【中期重点強化分野】

1. 個人向け金融サービスのクロージング機能
2. 事業会社向けソリューション提供サービス

セプテーニと金融分野に特化した広告代理店合弁会社「株式会社キャノウ」を設立。

3. 新たな金融プロダクト事業
4. 新規インターネットメディア

ターゲット層を絞った各種サイトの立ち上げ。



【メトセク.jp】
男性向けライフスタイル
提案サイト



【化け犬.jp】
独身女性応援コミュニ
ティ
サイト



【リッチダッド】
「金持ち父さん」日本オ
フィシャルサイトの運営

インターネット広告代理店業への展開



- インターネット広告業界有数の営業力
- 1200のクライアントチャンネル
- アフィリエイトなどの独自サービス
- 急拡大する金融分野での実績

- 金融比較サイト最大手としての金融機関チャンネル
- 金融分野におけるインターネットマーケティングノウハウ
- 豊富な金融機関向けソリューション

インターネット金融分野での実績に裏づけされた付加価値の高いサービスの実現

合併会社の設立

商号: 株式会社キャノウ
資本金: 1億円



両社の強みを持ち寄ることでネット広告市場の主戦場である

金融分野でNO.1を目指す

FAグループ事業概念図



<http://www.financeall.jp/>